

競艇場の従事員数と平均基本給(日額)

	2001年4月	2003年4月	2005年4月	
総従事員数(24場合計)	11,574名	9,150名	6,953名	40%減
1場あたりの平均従事員数	482名	381名	290名	
平均基本給(日額)	11,207円	10,541円	9,579円	14.5%減

従事員が最も多い競艇場	A競艇場 920名
1日平均売上額	8.7億円
従事員が最も少ない競艇場	B競艇場 222名
1日平均売上額	1.3億円

D競艇場	577名
1日平均売上額	4.7億円
B競艇場	213名
1日平均売上額	1.3億円

E競艇場	468名
1日平均売上額	3.3億円
F競艇場	129名
1日平均売上額	1億円

平均基本給が最も高い競艇場	A競艇場 16,557円
1日平均売上額	8.7億円
平均基本給が最も低い競艇場	C競艇場 7,914円
1日平均売上額	3.4億円

D競艇場	15,574円
1日平均売上額	4.7億円
C競艇場	7,787円
1日平均売上額	1.8億円

D競艇場	13,958円
1日平均売上額	3.2億円
G競艇場	5,463円
1日平均売上額	4.7億円

* 2005年の売上額は4~9月の半年間の実績

2006 年度 助成事業の重点テーマ

1号交付金（海洋船舶関係）	2号交付金（公益・福祉関係）
<p>(1)船舶、海運に関する技術の研究・開発と産業の基盤強化</p> <p>(2)海洋に関する研究及び情報の整備</p> <p>ア. 研究者及び専門家の人材育成</p> <p>イ. 教育を通しての海洋問題に関する情報提供</p> <p>(3)航行の安全確保及び海上災害対策</p> <p>(4)「海」「船」についての理解促進</p> <p>ア. 地域の博物館が行う企画展の開催等</p> <p>イ. 地域の「海」や「船」による水に親しむ活動</p> <p>ウ. 造船所を活用した産業理解を促進させる活動</p> <p>エ. 海洋に関する地域文化の伝承活動</p>	<p>(5)生涯スポーツの充実</p> <p>(6)芸術文化への協力</p> <p>(7)子どもの健全育成</p> <p>ア. 子どもたちの感性を豊かに育む活動</p> <p>イ. 虐待など生活環境に問題のある子どものための活動</p> <p>(8)改修・改装による福祉拠点の充実</p> <p>ア. 改修による新規福祉拠点の整備</p> <p>イ. 既存宅老所の改装</p> <p>ウ. 小規模作業所の改装</p> <p>(9)障害者の地域生活支援</p> <p>(10)森林・竹林整備や里地・里山の保全</p> <p>(11)犯罪被害者に対する支援</p> <p>(12)郷土の文化資源を活用した地域づくり</p> <p>(13)ホスピスケア充実のための活動</p> <p>(14)ハンセン病制圧活動の推進</p>

評 議 員 名 簿

平成 17 年 9 月 1 日現在

役 員 名 簿

平成 17 年 9 月 1 日現在

役職名	氏 名	現 職 等
評議員	米 長 邦 雄	永世棋聖 (社)日本将棋連盟会長
〃	下 村 のぶ子	元 (株)婦人生活社編集長 (株)海竜社代表取締役社長
〃	鈴 木 富 夫	出版倫理協議会議長
〃	屋 山 太 郎	元 (株)時事通信社解説委員 政治評論家
〃	三 好 正 也	元 経団連事務総長 (株)J-WAVE代表取締役会長
〃	金 平 輝 子	元 東京都副知事
〃	高 木 剛	UIゼンセン同盟会長
〃	黒 明 良 光	元 (社)日本モーターボート選手会会長
〃	松 本 健 一	麗澤大学国際経済学部大学院国際経済研究科教授 評論家
〃	中 平 幸 典	元 大蔵省財務官 信金中央金庫理事長
〃	近 藤 恭 子	千葉商科大学政策情報学部教授
〃	千 野 鏡 子	(株)産業経済新聞社論説委員長
〃	松 井 義 雄	(株)読売新聞東京本社代表取締役会長
〃	石 黒 克 巳	元 (株)毎日新聞社代表取締役 専務
〃	土 井 勝 二	元 運輸省運輸審議官 日本空港ビルデング(株)代表取締役副社長

役職名	氏 名	現 職 等
会 長 (非常勤)	笹 川 陽 平	(社)東京都モーターボート競走会会長
理 事 長 (常勤)	尾 形 武 寿	元 (財)日本船舶振興会常務理事
常務理事 (常勤)	長 光 正 純	元 海上保安庁次長
常務理事 (常勤)	森 田 文 憲	元 (財)日本船舶振興会公益・福祉部長
常務理事 (常勤)	大 野 修 一	元 (財)日本船舶振興会国際部長
常務理事 (常勤)	前 田 晃	元 (財)日本船舶振興会経営企画グループ長
常務理事 (常勤)	田 南 立 也	元 (財)日本船舶振興会国際協力グループ長
理 事 (非常勤)	牛 尾 治 朗	ウシオ電機(株)代表取締役会長
理 事 (非常勤)	蔭 山 幸 夫	(社)全国モーターボート競走会連合会会長
理 事 (非常勤)	田久保 忠 衛	杏林大学 客員教授
理 事 (非常勤)	梶 田 功	元 全国モーターボート競走施行者協議会会長
理 事 (非常勤)	間 野 忠	(財)日本海事協会名誉会長
理 事 (非常勤)	的 場 順 三	元(株)大和総研 理事長
理 事 (非常勤)	渡 部 昇 一	上智大学 名誉教授
監 事 (常勤)	築 山 陞	元 (財)日本船舶振興会経理部長
監 事 (常勤)	増 田 裕 夫	元 会計検査院第一局長
監 事 (非常勤)	劔 持 昭 司	元 熊本国税局長
監 事 (非常勤)	村 山 徳五郎	中央青山監査法人相談役

2006年度 助成事業募集の広告について

1. 掲載紙: 官報および一般新聞59紙

2. 掲載期間: 2005年9月5日(月)～9日(金)
内訳) 5日(月)官報、朝日、福祉新聞
6日(火)読売
7日(水)毎日、ブロック3紙
8日(木)産経、地方紙48紙
9日(金)日経、海事、農業新聞

3. 一般紙内訳:
 - (1) 全国紙 5紙 朝日、読売、毎日、産経、日経
 - (2) ブロック 3紙 北海道、中日、西日本
 - (3) 地方紙 48紙 東奥日報、秋田魁新報、岩手日報、デーリー東北、岩手日日、河北新報、山形、福島民報、福島民友、下野、上毛、山梨日日、新潟日報、北日本、北國、福井、日刊県民福井、信濃毎日、長野日報、静岡、岐阜、伊勢、京都、神戸、山陽、中国、山陰中央新報、日本海、四国、徳島、高知、愛媛、佐賀、長崎、大分合同、熊本日日、宮崎日日、南日本、沖縄タイムス、琉球新報、埼玉、奈良、山口、十勝毎日、常陽、釧路、東愛知、中部経済
 - (4) 専門紙 3紙 福祉新聞、日本海事新聞、日本農業新聞

4. 広告スペース: 全5段